令和８年９月定例会

定例会報告



令和８年９月定例会が９月１日から 18 日まで(18 日間)開催され、審査の結果、議案 23 件すべてを可決しました。
請願２件は不採択となりました。



- 市長提出議案 …… 22 件
- 請願 …… 2 件
- 議員提出議案 …… 1 件

補正予算等

◀ 今号では、この中から「2 議案」をピックアップ！

PICK UP 1

議案第 56 号　令和８年度能美市一般会計補正予算（第２号）　２億1,800万円

保育園共通管理費　予算額 210万円

公立認定こども園で、家庭から毎日３枚持参している0歳児、1歳児の手拭きタオルを廃止し、ウエットティッシュを活用することで、保護者、保育士双方の負担を軽減します。



公立認定こども園でウエットティッシュを導入▶

Q 保育士の負担は時間数で換算するとどれくらい軽減されるのか。

A 現在１日３回行っている手拭きタオルの準備・片付け作業が不要となることから、保育園の規模にもよるが、１日あたり０歳児クラスでは30分、人数の多い１歳児クラスでは60 分の負担軽減が見込まれる。
市内12 園の公立園全体で換算すると、１日あたり約18時間の削減につながる。

中小企業経営支援助成費　予算額 270万円

中東情勢の悪化により、資金繰りに支障をきたしている事業者を支援するため、石川県が令和８年６月に新設した「中東情勢対応緊急特別融資」を受けた市内中小企業者に対し、利子の一部を補助します。

Q 県が新設した中東情勢対応緊急特別融資を申し込みした企業は現在能美市で何社あるのか。融資総額はいくらか。

A 現在把握している融資件数は８月末現在で26 件で、総額は約７億5 千万円。

Q 申し込み状況はどのように把握しているのか、また周知方法はどうか。

A 県の信用保証協会からの情報提供。制度の周知は市ホームページでの紹介のほか、商工会や金融機関にも情報提供して共有を図る。

PICK UP 2

議案第 61 号　令和７年度能美市一般会計歳入歳出決算認定について

６次産業推進事業　決算額 59万円

能美市産農林産物を活用した加工品の開発や改良等に対して補助金を交付しています。



Q 令和７年度も、６次化商品の開発へ２件の補助金が交付されているが、どのような商品か。

㊤国造ゆずマルチバーム▶
㊦黒ニンニク



A １件目は、県外企業による「国造ゆずマルチバーム」であり、これは、従来廃棄していたゆずの搾り皮を利活用し、ゆずを無駄なく使用した、全身の保湿やケアに活用できる多機能クリームである。
２件目は、「黒ニンニク」であり、能美市に移住した方が、食から始まる循環社会を目指して、市内で起業し、地元若手農業者が根上砂丘地において栽培している「にんにく」を使って黒ニンニクに加工したものである。

能美市誕生20周年記念ふるさと愛醸成事業　決算額 2,155万円

市誕生20周年を記念し、ふるさと愛の醸成と能登半島地震からの復旧・復興に取り組む町会・町内会への補助です。

Q 補助金の利用用途で主要なものは何だったか。どのような効果があったか。

A 公民館などにテーブルや椅子、テントなどの備品購入や、パソコンやプロジェクター、大型モニターなどデジタル環境を整備した町会・町内会が複数あった。夏まつり等の住民が集う地域行事の開催などで住民同士の親睦・交流を深めるとともに、地域コミュニティの維持・活性化にも寄与できた。

指定ごみ袋製造事業　予算額 1,286万円

指定ごみ袋製造費用の高騰により、現予算だけでは必要数を確保できないことから、不足分の製造費用を増額して対応します。



Q 必要枚数はどれだけか。これからも物価高騰が予想されるが、今回の不足額はどのような経緯で生じたものか。

能美市指定ごみ袋▶

A 令和８年度の必要枚数は285万枚である。当初予算により、今年５月に今年度分の発注を１回で行う予定だったが、価格高騰の影響を受け、約６割の174万枚しか発注できなかったことから、今回、残りの分である111万枚を追加製造するために補正を行うものである。

※予算額の１万円未満は切り捨てて表示